



ハノイ

2010年8月～2013年滞在
(2011年記 2022年追記)

子どもの年齢 長女：G9～(14歳～) インター校

基本情報

気温	亜熱帯 四季があり、夏(6月後半から7月)は 35°C 以上の気温になることが多い 8月は日本より過ごしやすい 冬は最低気温5°Cくらいまで下がることもあるので、フリース程度の防寒着が必要 年間を通じて湿度が非常に高く、カビ対策が必須
緊急電話	警察 113 消防 114 救急車 115 ハノイ市警察 024-3939-6777 在ベトナム日本国大使館 024-3846-3000
電圧	220V プラグは2つ穴の丸タイプ(C型)が多いが、平型タイプ(A型)との併用コンセントも増えている キッチン家電関係は3つ穴が多い 延長コードは差し込み口の品質が悪く差し込みにくいので、プラグと一緒に日本から持参したほうがよい
水	ミネラルウォーターを使用 20リットルくらいのボトルを配達してくれる

買い物

日本の物	日本メーカーの家電製品は多いが、現地や中国生産で、細かい制御ができるものはまだ少ない 日本の100円ショップ「ダイソー」のハノイ店がある 日本食材を扱うショップは市内に5～6店舗あり、ここ数年で品数が増えて、特にブランドにこだわらなければ大抵の調味料は手に入る また、韓国食材の店には、ホットケーキミックスやお菓子など、日本のものとよく似たものが揃っていて便利 【2022年11月追記】ベトナムには近年日系のショップや大型ショッピングモールが進出している ハノイ郊外にも大きなイオンモールがあり、日本のもの(食料品、日用品、書籍)も容易に手に入るようになった
食料品	日本人経営の魚、肉の宅配サービスがある 大型スーパーの食材売り場はとても充実している 肉魚など冷蔵冷凍しているので安心 ローカル市場は、使いこなせばスーパーよりも種類は多く安価な上、少量でも買えるのでとても便利 常設の市場のほかに、街のあちこちで朝だけ路上で開かれるマーケットがある ウェスタンフーズの専門店もある。 【2022年11月追記】イオンにはトップバリュなどのブランドも揃っている
日用雑貨	大型スーパーでひと通り揃う コンビニも増えてきている

	高級品は、外資系デパートや外国人向けショップなどで購入できる
学用品	<p>文房具は本屋内に売り場が併設されているところが多い</p> <p>KOKUYOキャンパスノートの現地生産品が豊富にある</p> <p>筆記具は特に問題ないが、定規・コンパスなどは日本の物の方が品質が良い</p> <p>26穴のファイルはあるが、それに合うルーズリーフがない場合もあるので注意が必要</p>
衣類	<p>品質にこだわらなければ安価で手に入る</p> <p>ただし大人用は、現地の小柄な人にあわせたサイズで、日本のSサイズ以下が主流</p> <p>海外ブランドのショップは、ショッピングセンターにたくさん入っている</p> <p>ティラーに生地を持ち込んで、チュニックなどの普段着を仕立ててもらう人も多い</p>

	交通
公共の交通	<p>バス、セオム(バイクタクシー)が市民の足になっているが、日本人はタクシーか社用車使用が大半</p> <p>【2022年11月追記】タクシーはスマホアプリから呼ぶこともでき、言葉が通じなくても乗れるので安心</p> <p>ベトナム語は発音が難しいので、行き先がドライバーにうまく伝わらないことが多いが、アプリ経由なら地図で示せるので便利</p> <p>公共バスや高速輸送システム BRTなどは路線も充実しているので、慣れれば行動範囲がぐっと広くなる</p>
運転免許	<p>ベトナムで運転できる免許を持っている日本人もいるようだが、ほとんどがドライバーフルで車をチャーターレンジしている</p> <p>バイクがとても多く、車も増えているので市内は慢性的に渋滞しており、交通ルールはわかりにくく、運転マナーも極めて悪いので、外国人で車を運転する人はほとんどいない</p> <p>交通事故の際の賠償も、外国人相手だと高くふっかけられることもある</p> <p>ただし外国人でも、慣れてくると移動に便利なバイクを利用する人も多い。</p>

	住居
住宅事情	<p>外国人向けのサービスアパート(レセプション付きで掃除などをしてくれる)は家賃2500~5000ドルと高い</p> <p>サービスなしアパートでも外国人が多く条件のいいところは2000ドル以上することも珍しくない</p> <p>単身赴任者向けでも1000ドル程度から</p> <p>一軒家を借りることもでき、選択肢は多い</p> <p>※上記相場は2012年頃のもの</p>
日本人が多く住むエリア	<p>日本人がまとまって住むサービスアパートが市内各所に点在している</p> <p>西洋人の多い市内北部のタイホー地区のアパートやヴィラも人気</p> <p>市内南西部に開発中のニュータウン(ミーディン地区)には続々とアパートが建設されていて、日本人学校に近いことからそちらに住む人も増えている</p> <p>【2022年11月追記】ハノイ市郊外には大規模な団地が次々とできており、そこに住む外国人も増えている</p>
使用者	<p>買い物、料理、ベビーシッター、掃除のために、メイドさんを半日程度頼む家庭が多い</p> <p>サービスアパートでは日常の掃除をやってくれるので、必要ないという人も多い</p> <p>家族の移動用に、ドライバーフルの車を支給している会社もあるが、ここ数年は減ってきているようだ</p>
治安	治安はよく、都心部では深夜でも人通りが多くて安心だが、ひったくり、スリなどの被害もあるので、注意

セキュリティ	が必要 また、薬物中毒者などを見かけることもある アパートでは、セキュリティのためにガードマンを雇っている
--------	---

教育	
通った学校	ハノイインターナショナルスクール
通った学校の詳細	幼稚園から高校までのインター校 生徒数 300 人程度、IBカリキュラム
塾	塾は日系の塾が2校ある
家庭教師	家庭教師は誰かの紹介で探す 【2022年11月追記】 ここ10年ほどで日本人が大幅に増えて、日本人の子どものための塾などのサービスが充実してきている
習い事	テニス、ゴルフ、水泳などのスポーツ系やバイオリンなどの楽器の個人レッスンを受ける子どもが多い
アドバイス	中学高校段階の子どもを受け入れるインター校は2~3校(UNIS, HIS, SIS)しかないので、ウェイティングが出ています。赴任が決まりそうなら、早めにコンタクトされることをお勧めします。なお、UNISの高校は、入学後の英語サポートがありません。 インター幼稚園、小学校はこのところ開校ラッシュが続いています。 200人規模の日本人学校がミーディン2地区(市内西部)にあり、市内のアパートをまわるスクールバスで送迎しています。日本人向け幼稚園は老舗の園(タイホー地区)のほかに、もう1園できるそうです。 【2022年11月追記】 日本人が増え、日本人学校は世界で有数の規模になっており、インター校も新設されている

病院	
医療事情	外国人向けクリニックが数軒ある 総合病院はフレンチ病院が有名 【2022年11月追記】 日系の大きなクリニックができ、健康診断なども対応できるとのこと
日本人医師	日本人医師・日本人看護師・通訳がいる外国人向けクリニックあり フレンチ病院には日本語通訳あり
薬品	街中の薬局でも購入できるが、外国人はクリニック併設の薬局で処方してもらうのが一般的

交流	
日本人	日本人会はないが、日本人商工会が中心になって日本祭りなどが開催されている ハノイ日本婦人会の活動も盛んで、サークル活動も多い
現地の人	日本人には好意的な人が多く、自分から働きかけると友達ができる ただし、英語はあまり通じない
駐在外国人	現地の人と同様に日本人に好意的な人が多い ハノイには韓国人がとても多く、インター校でも1/3近くが韓国人生徒だが、反日感情が強い人は少数で、子どもたちはおおむね仲良く過ごしているようだ

伝えたいこと

治安はよく、食べ物はおいしく、人情も厚く、気候も温暖で、とても暮らしやすい国です。近年の経済成長が著しく、めまぐるしく発展しているのが実感できます。外国人が暮らしていくための環境はここ数年で大きく変わり、格段に生活が楽になってきているようです。

ただ、生活マナーや習慣など、日本にいる時の感覚をそのまま持ち込んでしまうと、思い通りにいかないことがたくさんあり、ストレスを抱えることになるかもしれません。最初の気持ちの持ち方で、国の印象が随分変わってくると思います。

【2022年11月追記】ここ10年でベトナムと日本の関係が深まり、日本人にとってはとても暮らしやすい国になっていると思います。